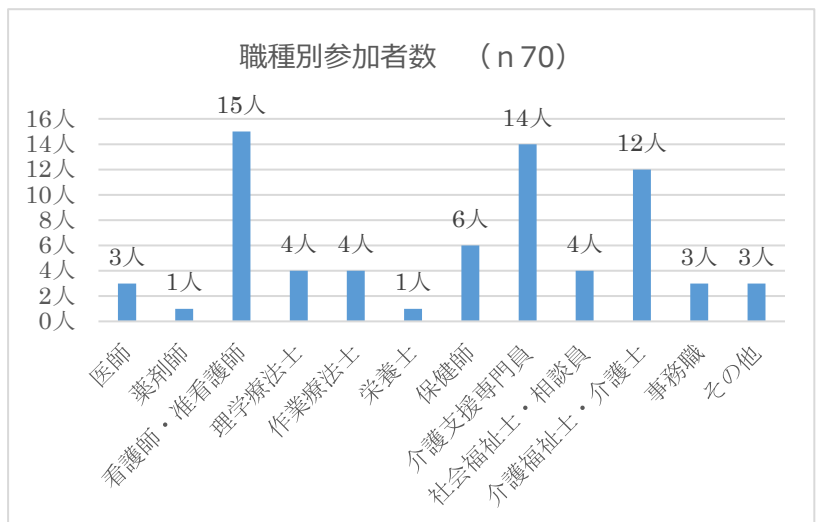
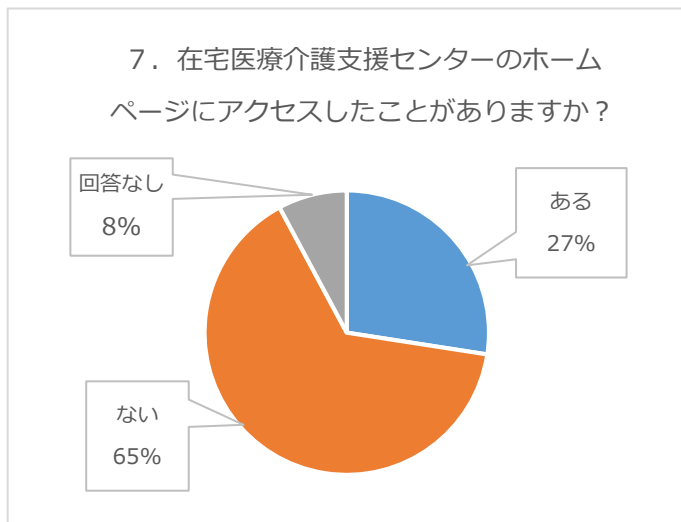
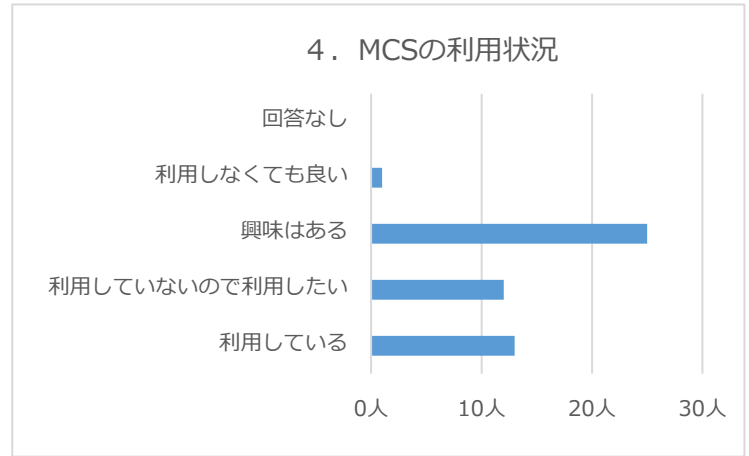
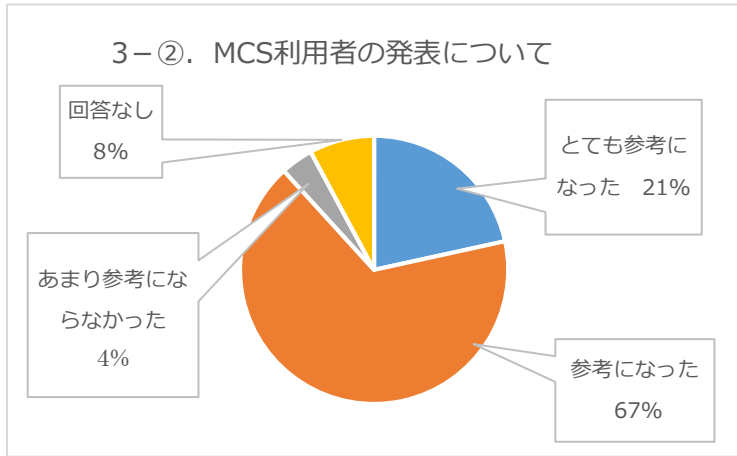
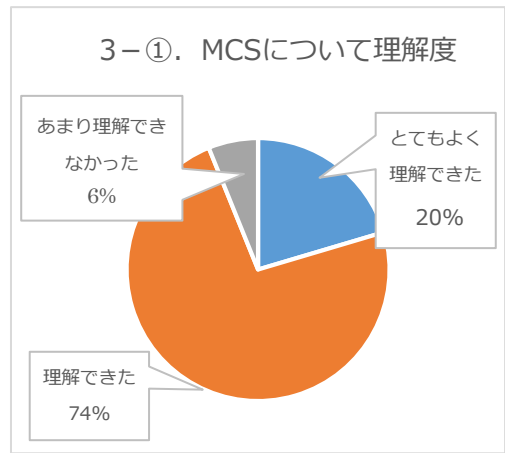
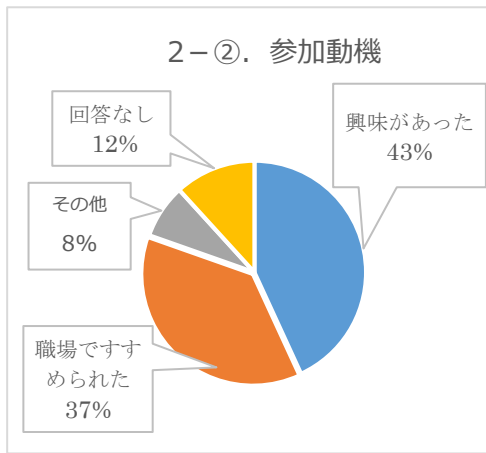
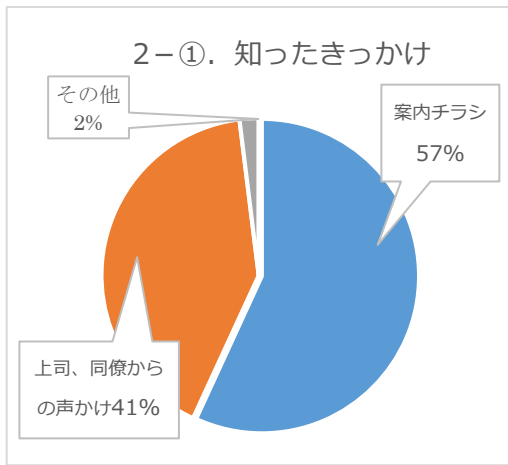
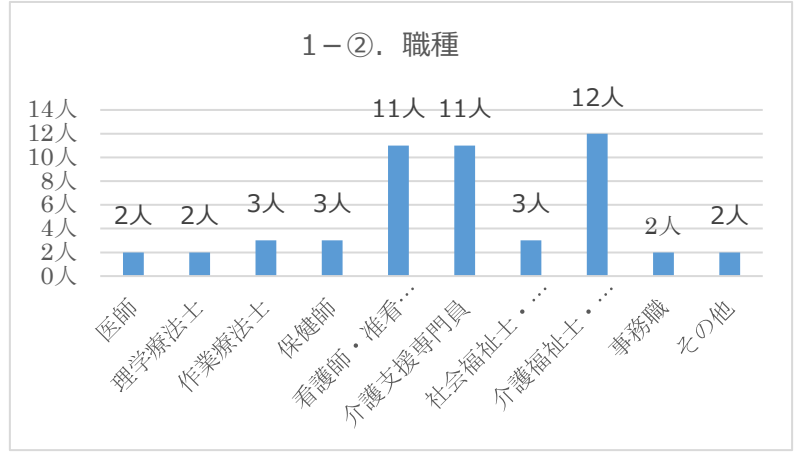
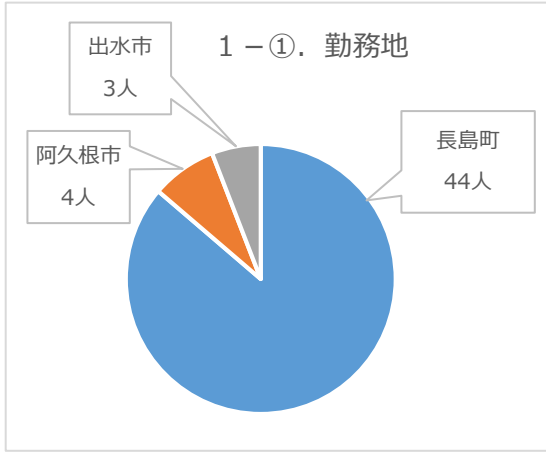


令和元年度 出水地区在宅医療・介護連携推進に係る多職種交流研修会

8月23日(金曜日) 長島町開発総合センター

参加人数 70名(研修広報班13名含む) アンケート回答 51名 回答率 89.5%



5.MCSをもっと活用するためには、どうすれば良いと思いますか？（研修会の感想も含む）（赤字は回答）

- ・複数の事業所を利用している方の活用例の事例検討会を開催する。（他 4 件）
- ・とにかく多くの事業所に参加して頂き、MCS の認知度をあげ情報発信する。（他 7 件）
- ・まずは使ってみる（登録してみる）ことから。
- ・登録方法を細かく支援する。
- ・みんながもっとアクセスして利便性を高める。
- ・端末が一人ずつあればいい。個人用はあまり使いたくない。（他 1 件）
- ・通知設定があればいい。⇒通知設定あります。
- ・既読機能があってほしい。
- ・了解ボタンのデザイン変更（状態悪化時にいいねのマークのボタンは押しにくい）
- ・同事業所間でのやりとりも複数サービスを利用されている利用者の方にぜひ活用してほしいと思う。
- ・緊急性の少ない情報をチェックする手間を惜しんでしまい、なかなか普段からの活用は難しいと感じている。
- ・來仙先生のような医師が増えたらいいと思った。「來仙チーム」のような先生と関係者とのグループがあれば連携が取りやすい。
- ・実際使っていらっしやるドクター同席だったので説明してくださり理解できた。親近感がありよかった。
- ・画像が見づらく理解しにくいところもあった。
- ・現在の業務内では、スマホ（ライン）・電話・FAX で不自由は感じていない。（他 1 件）
- ・今回参加し MCS を理解し、今後利用していきたい。
- ・皆が活用しなければなかなか続かない。

6. 多職種交流研修会で取り上げて欲しい、具体的な要望（研修内容、テーマなど）

- ・かかりつけ医の先生の勉強会。

（その他）グループワーク時の意見

①連携において普段困っていること

- ・情報交換ができない。
- ・内服薬の追加の情報や症状の変化などを把握できない。
- ・主治医に前もって連絡を取っていくときなど。
- ・「これ聞いていいのかな？」とか「これ必要かな？」など、躊躇してしまう。
- ・入退院について、利用者からの気持ちを聞いて電話するまでに期間が空いてしまいがちになる。
- ・訪問したときに（ヘルパーさん）誰に相談したらいいか悩むことがあった。
- ・FAX はすぐに見てもらえているか心配、見たかどうか分からない。
- ・情報共有が難しい。自分が出勤していないときの利用者の状況を把握しきれない。

②不便だなあと思うこと

- ・ネット環境が光ではないので動画を見るとき不便。
- ・相手（特に医師）がいつ見てくださるか分からないので、緊急の場合は再度電話が必要。
- ・一定期間使用がないと自動でログアウトされてしまう。
- ・通知が来ないので 1 回 1 回確認しないといけない。⇒通知設定できます。
- ・通知件数・お知らせ機能が分かりやすいように表示して欲しい。（他 2 件）
- ・MCS にいない人には再度連絡が必要。
- ・私物を使わざるを得ない。（休日・夜間も連絡が来る可能性がある）
- ・自分が発信した情報を相手に伝わっているか確認できない。
- ・職場内のグループラインが多く、どの情報がどのラインに流れたのか分からなくなる。ラインは誤っておくることがある。

③MCSに関する疑問

- ・誰がMCSをスタートするとき使うように呼びかけるのか。(他3件) ⇒**必要性があれば誰が最初に呼びかけても構わないです。**
- ・医療用非公開型は本当に大丈夫か。セキュリティが心配である。(他1件) ⇒**強固な完全非公開型のセキュリティ環境で管理されているので安心して情報共有ツールとして使用できます。**
- ・どの程度の内容まで書けばよいか悩む。⇒**情報共有しておきたいことや状態の変化や経過・報告、日々の様子、本人や家族の思いなど書き込んでいます。**
- ・登録するのに決まりがあるのか⇒**患者グループ作成は基本、医師か在宅医療介護支援センターになります。患者の選定は、状態の変化がある方、入退院を繰り返している方、複数の事業所からのサービスを受けている方、情報共有をしたい方などが対象です。**

④MCSをこんな風に使ったらどうだろう(アイデア)

- ・広域医療センターや離れたところなどでは活用できると思う。
- ・施設内の空き状況をデータとして情報共有できればいい。待ち情報や、訪問リハビリや看護の空き状況も分かればいい。
- ・ケアマネが主体となってくれば上手くまわるかも。担当者会議の時に連携をとれたらよい。
- ・退院カンファレンスの時に作成しておく。
- ・文章が苦手の人のためにマイク機能を付けて欲しい。⇒**スマホやタブレットの音声機能を利用して入力することはできます。**
- ・病院内でのリハビリの様子・動作の様子について、病院を退院したときに情報共有できるようにしたい。
- ・尿や便の状態が確認できるのではないかと思う。

⑤MCS使用のメリット

- ・皮膚疾患のケースやケガの状態など、画像を送って確認するには伝わりやすく便利。(他2件)
- ・他のサービス利用時の状況・情報をタイムリーに共有できる。(他3件)
- ・歯の痛みに対して患者より訴えあっても、専門的なところすぐに相談できず不安があったが、MCSを活用すると他のスタッフの意見も聞き対応できる。
- ・自宅に行かなくても状態がわかる。(他1件)
- ・交流の場としても活用できる。
- ・家族への情報発信として使う。遠方の人も分かる。
- ・写真で送って、電話で伝えると説明しやすく確実に伝わる。

⑥その他の意見

- ・緊急性のある情報をMCSに投稿するのはいつ見てもらえるのかわからない。⇒**緊急性がある情報は基本電話ですしています。**
- ・言葉で伝えたほうが分かりやすい。文章だと相手の取り方によって伝わり方が変わってしまう可能性がある。
- ・時間が経つと次々コメントが上書きされていくので、前のコメントに対する返信との間に別のコメントがはさまり分かりにくい。
- ・便利だとは思いますが、一人だけの書き込みになりそう。
- ・自分自身がMCSに対する意識が低い。
- ・MCSを開くが見るだけ、いいねを押すだけでコメントや書き込みはしていない。(他1件)
- ・今の職場ではMCSの必要性がない気がする。
- ・長島町内ではすぐ連絡がつくので必要性がないので、広がらないのではないか。(長島町はコミュニティが近い)
- ・SNSに不慣れな方にとっては億劫である。
- ・タブレットが使用しづらい。⇒**パソコンやスマートフォンでも利用できます。**
- ・手間が増えるのではないか。
- ・コストがかかる。